

2025年10月31日

各 位

会 社 名 株式会社JVCケンウッド
 代表者名 代表取締役
 社長執行役員 最高経営責任者（CEO）
 江口 祥一郎
 （コード番号6632 東証プライム市場）
 問合せ先 経営企画部長 遠藤 勇
 （TEL 045-444-5232）

2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年3月期通期連結業績予想を修正することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想の修正（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

（単位：百万円）	売上収益	事業利益※	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想（A） （2025年5月1日発表）	358,000	20,000	19,000	19,500	14,000	円 銭 95 69
今回修正予想（B） （2025年10月31日発表）	360,000	21,000	20,500	21,000	15,500	円 銭 105 29
増 減 額（B-A）	+2,000	+1,000	+1,500	+1,500	+1,500	
増 減 率（%）	+0.6	+5.0	+7.9	+7.7	+10.7	
（参考）前期実績 （2025年3月期）	370,308	25,307	21,792	23,490	20,276	円 銭 135 17

※売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まない。

2. 修正の理由

当中間連結会計期間は、セーフティ&セキュリティ分野の無線システム事業において部品供給不足による影響を受けたものの、モビリティ&テレマティクスサービス分野が想定を上回って推移しました。

また、米国の関税措置に対しては、価格転嫁や中国産品の販売抑制、経費削減の実施などの短期施策に加え、生産地移管や投資見直しなどの中長期施策を講じ、業績影響を最小化すべく対応を進めております。2026年3月期通期連結業績の前回発表予想では、2025年5月1日時点で想定し得る米国の関税措置の影響として売上収益で約130億円、事業利益で約50億円のマイナス影響を織り込みましたが、前述の各種施策の効果により通期で売上収益で約98億円、事業利益で約37億円まで軽減する見通しとなりました。

一方で、第3四半期連結会計期間以降は、無線システム事業での部品供給不足の解消による挽回生産のタイミングがやや後ろ倒しとなることを踏まえた生産・販売減の影響を見込んでいます。

以上を踏まえ、2025年5月1日に発表した2026年3月期通期連結業績予想を修正いたします。なお、分野別予想は以下のとおりです。

モビリティ&テレマティクスサービス分野及びエンタテインメント ソリューションズ分野の事業利益は前回発表予想に対して上振れ、また、セーフティ&セキュリティ分野の事業利益は下振れを見込んでおり、その結果、連結業績予想は上方修正となります。

【参考】 分野別通期連結業績予想

(単位：億円)

		2026年3月期 前回発表予想 (A) (2025/5/1)	2026年3月期 今回修正予想 (B) (2025/10/31)	増減額 (B-A)	参考：前期実績 (2025年3月期)
M&T分野	売上収益	1,940	1,965	+25	2,032
	事業利益	19	39	+20	49
S&S分野	売上収益	1,040	1,020	△20	1,000
	事業利益	175	162	△13	186
E S 分 野	売上収益	540	545	+5	579
	事業利益	8	11	+3	18
そ の 他	売上収益	60	70	+10	91
	事業利益	△2	△2	0	△0
合 計	売上収益	3,580	3,600	+20	3,703
	事業利益	200	210	+10	253

※M&T分野：モビリティ&テレマティクスサービス分野、S&S分野：セーフティ&セキュリティ分野、
ES分野：エンタテインメント ソリューションズ分野

以上

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。